

平成28年度

あおもりの中学生・高校生による



# 大切なあなたへ薦める 青春の一冊

## 優秀作品集

中学生・高校生の皆さん、本を読んでいますか？

読書は、自分の感性を磨き、表現力や創造力を高めてくれます。そして、これからの人生をより深く生きる力を身に付けることができます。

青森県教育委員会では、皆さんにより本に親しんでもらいたいという思いから、県内の中学校、高等学校（特別支援学校中学部及び高等部を含む）に在籍する生徒を対象に、仲間や友だちなどに薦めたい本の紹介文を募集しました。

たくさんの作品（「中学生の部」1,467点、「高校生の部」2,839点）の中から厳正な審査により、各部門 21 点ずつ計 42 点が優秀作品として選定されました。

この冊子では、各部門の最優秀賞 2 点、優秀賞 10 点の計 12 作品を紹介しています。これをきっかけに、多くの皆さんが図書館や書店で本を実際に手に取って読んでもらえることを期待しています。

なお、奨励賞を含む全優秀作品については、県教育委員会のホームページで読むことができます。

青森県 青春の一冊

検索

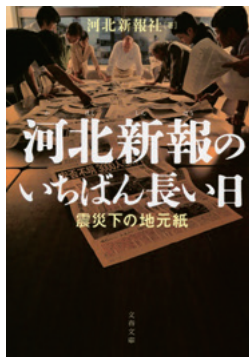
青森県教育委員会

# 中学生の部

## 最優秀賞

『河北新報のいちばん長い日』（河北新報社／著）

青森市立南中学校 2年 小松 佳祐



文春文庫

あの忌まわしい3.11から5年。もう震災の記憶を忘れてしまっている人も多いのではないかな。そんな人に読んでほしい一冊である。

この本は、宮城の地元新聞社である河北新報が、震災時、新聞制作が困難な状況に置かれながら、いかに被災者に情報を届けるか、そして彼らも「被災者」として生き抜く葛藤を描く、ノンフィクションである。

本を熟読し、特に印象深かったのは、記者達の「誇り」と「情熱」である。震災という事態があっても新聞発行を絶やしてはいけないと奮闘する姿や率先して震災直後の危険な被災地へ出向く姿からそれが感じられた。

フィクションもいいが、5年前にあった現実をあなたの目で見てはどうだろうか。

審査評：中学生ながら、2011年度新聞協会賞を受賞した東日本大震災報道のノンフィクション作品を選び、事実の持つ迫力を強く伝えている。構成力に秀で、震災時の記者たちの意気込み、新聞社の状況等の迫力が伝わり、職業について、生き方についても興味をもたせる紹介文である。

## 優秀賞

『下町ロケット』（池井戸 潤／著）

五戸町立五戸中学校 3年 奥山 敬之



小学館

二年生の半ば、僕はテストにうんざりしていました。一年生の頃は違いましたが、内容が多く、そして難しくなるにつれ、やる気がどんどん無くなっていきました。そんな時に「下町ロケット」という本に出会いました。

この本は、元研究者の主人公がロケットを飛ばしたいという夢を忘れられず、様々な山を乗り越えて、夢を叶えるという話です。

僕はこの本に心を打たれました。主人公の夢を追い続ける、強く真つ直ぐな気持ちに感動しました。そして、僕は、勉強したくなりました。僕にも夢があります。それを叶えるためなら、どんな苦しいことも乗り越えることができます。これは夢の大切さを教えてくれた「下町ロケット」のおかげです。

審査評：中学生の率直な思いがますます伝わってきて、「ぜひ読んでみたい」と思わせてくれる。書き出しが特に良い。自分の経験をもとにした本の薦め方が見事である。

『生きる意味』（上田 紀行／著）

藤崎町立藤崎中学校 3年 成田 汐花



岩波書店

「私は、なぜ生きているのだろう。」

この疑問をもったとき、ある本に出会った。『生きる意味』、タイトルを見た瞬間、私は驚いた。答えがわかるかもしれない、と。

この本は、世で生きていくことの尊さを真剣に掘り下げ、自分自身が生きる意味を考えさせられる一冊だった。私は今まで何も考えずにただ学校に行き、勉強をし、家へ帰る、という一日をなんとなく繰り返してきた。しかし、それが本を読み終えた頃には、大きく変わっていた。大切な事を知らされたのだ。

私はまだ十四年しか生きていないが、今まで読んだ中で、一番心に残った本である。だから、この本を大切な仲間、友達そしてたくさんの人に読んでほしい、と私は思う。

審査評：応募者が、これまで出会った本の中で、最も心に残り、日常が変わったということ、また、自分の内面に大きな変化をもたらしてくれた本を仲間にも読んで欲しいという思いが伝わってくる。

『小説 心が叫びたがってるんだ。』（豊田 美加／著・超平和バスターズ／著）

弘前市立津軽中学校 2年 神 瑞喜



小学館

自分の気持ちを素直に表すことはできますか。私も、そして君も場の雰囲気流されて、あまり、本音を表せていないのではないのでしょうか。この本には、私たちのような自分の気持ちを素直に表に出せない人物たちが登場します。彼らが十代特有の悩みを抱えながら地域の交流会でミュージカルをやることになり、そのことを通して後ろ向きだった気持ちが前向きに変わっていくというお話です。私はこの本のラストシーンを読んで、感動して思わず涙を流してしまいました。

人によって、感じ方や考え方は違うと思いますが、私は君にこの本を手にとって、読み、この本の世界を感じとって受けとめてもらいたいです。

審査評：文章構成がよく、自分と同年代の相手と同じ目線で語りかけ、思春期にある中学生の共感を呼ぶ表現で書かれている。何故、この本を薦めたいのかが伝わってくる。

『目がみえない 耳もきこえない でもぼくは笑ってる』（佐々木 志穂美／著・YUME／絵）

五戸町立五戸中学校 1年 深畑 歩花



株式会社  
KADOKAWA

私がこの本を紹介するのは、障がい者の生き様に心を打たれ、「障がい者」に対しての見方が変わったからである。私たちとは少し違う「障がい者」。この本は、障がい児三兄弟が暮らす日々を、この三兄弟の母でこの本の著者でもある佐々木志穂美さんが描いたドキュメンタリーである。

私はこの本を、「障がい者はかわいそう。」と思っている人に勧めたいと思う。実際に病院などに行ってみると、障がい者を見て、「かわいそう。」と言っている人を見かけるときがある。しかし、障がいは毎日が冒険だと思うと、考え方が変わることを教えられた。

この本は、障がい者をマイナスからプラスの立場に変えられることを描いている。

審査評：障がい者に対する考え方や見方が変わったことを紹介し、ぜひ同年代の仲間にも読んで欲しいという気持ちが十分に伝わってきた。障がい者への優しさを感じる選書が良かった。

## 『ジャパン・ディグニティ』（高森 美由紀／著）

青森市立南中学校 3年 佐々木 世奈



あなたは「ジャパン・ディグニティ」と聞いて、何を思い浮かべますか。なにか日本の伝統的なものかな…と想像はついても、はっきり答えられる人は少ないと思います。実は、海外で「漆」は「ジャパン」と呼ばれており、「ディグニティ」と合体して「漆の気高さ」を意味しているそうです。素敵ですね。

この物語は津軽塗職人を目指す女性のひたむきな姿を描いたとても温かいお話です。主人公の美也子さんは大人の人ですが、家族に支えられながら夢に向かうその過程に中学生の私もたくさん勇気をもらいました。彼女が作り上げる「ジャパン・ディグニティ」の形を、ぜひあなたも感じてください。読後には漆だけに「うるわしい」気持ちになるかも。

産業編集センター

審査評：書き出しの、タイトルについて語りかけるような書き方、ユーモアのある結びがうまく、文章の完成度が高い。津軽塗職人が主人公であるという点も興味をひく。本の内容の紹介も簡潔でうまい。

## 奨 励 賞

書 名	著者名	学校名	学年	氏名
orange【オレンジ】	時海結以、高野莓	平川市立尾上中学校	1	長利 風優
ここで負けてしまっごめんな	岩崎 夏海	青森市立南中学校	1	斎藤 弥咲
お母さんのなみだ	リングパブリッシャーズ 編集部	弘前市立津軽中学校	3	今 隼斗
思い出のとき修理します	谷 瑞恵	三沢市立第一中学校	3	横川 綾香
変身	フランツ・カフカ	五戸町立倉石中学校	1	今川 留那
シャッター通りに陽が昇る	広谷 鏡子	十和田市立第一中学校	3	小川 千穂
4 T E E N	石田 衣良	青森市立浪打中学校	3	藤田 里奈
風切る翼	木村 裕一	弘前市立第一中学校	3	工藤 瑛己
女王はかえらない	降田 天	むつ市立むつ中学校	3	石橋 玲那
電池が切れるまで 子ども病院からのメッセージ	すずらんの会 編	五戸町立五戸中学校	3	小泉 美月
くちびるに歌を	百瀬 しのぶ	むつ市立むつ中学校	2	高坂あめり
民王	池井戸 潤	青森市立南中学校	1	馬場 晴菜
五体不満足	乙武 洋匡	青森市立南中学校	2	川村 百花
北島康人物語	本郷 陽二 編	青森市立南中学校	1	二本柳蒼太
なでしこ物語「一生懸命」はかっこいい！	波野 りさ	五戸町立五戸中学校	1	三浦 夏海

※奨励賞の作品は県教育委員会のホームページで読むことができます。

# 高校生の部

## 最優秀賞

『一握の砂』（石川 啄木／著）

青森県立青森高等学校 2年 津川 玲菜



朝日新聞出版刊

「ふるさとの山に向ひて言ふことなし ふるさとの山はありがたきかな」私は岩木山に登った時、雲の近さ、草花の鮮やかさ、空気の美味しさに心を満たされた。先に述べた短歌は啄木のものなのだが104年経つ今でも通じるものがあるだろう。私はふるさと、青森の自然を愛する。合浦の海の匂いに夏を感じ、校舎から見える青々とした木々に懐かしさを覚える。私にとってふるさとの自然を愛する心の原点は石川啄木なのだ。あなたにも知っていただきたい。1つ1つの歌に込められた、啄木を精神を。あなたは、昔から目にしてきた景色にも味わい深いものがあったということに気づくだろう。ぜひ、この歌集を通じて啄木という人物の心に触れてほしい。

審査評：啄木作品と自分の体験がしっかり結びついており、故郷の自然を自分の言葉で描写している。感性の豊かさが感じられる。また、高校生が、百年以上前の歌集を取り上げて書いていること自体が同じ高校生や若者の心を揺り動かす。

## 優秀賞

『下手くそ』（中澤 佑二／著）

青森県立青森高等学校 2年 富岡 拓朗



ダイヤモンド社

僕はいつも、勉強、部活などさまざまな場面で自分の実力のなさを痛感する。特にうまくいかないときには、「自分はこの才能がないんだ、下手くそなんだ。」と自分で自分をあきらめそうになることもある。しかしそんな時、この本の言葉が僕を励ましてくれる。中でも気に入っているのが、「下手くそはチャンス」というのと、「失敗を恐れず全力で転べ」というものだ。僕は中三でこの本を初めて読んだが、それ以来受験、総体、勉強など色々な場面で僕を後押ししてくれた。

何かをあきらめそうなとき、この本は、読者に勇気を与え、励ましてくれる。何かを継続したい人、何かに挑戦したい人、「下手くそ」な人に、この本をお薦めします。

審査評：最後の一文がとてもよい。ぜひ読んでみたいという気持ちを抱かせてくれる。本から得たことを自分のものとして生かして、誰に読んで欲しいかが明確である。悩む同世代に元気を与えるという観点で紹介しているところが素晴らしい。

『自分を好きになる本』 (パット・パルマー／著・広瀬 弦／イラスト・eq Press／ 翻訳)

青森県立八戸商業高等学校 3年 松森 聖良



径書房

私が中学生だった時に、母からプレゼントしてもらった本です。思春期真っ只中で悩むことばかりで自分を嫌っていました。そんな私に気づき、母は無言で私に差し出してくれました。寝る前に一章ずつ読みました。全体でたったの58ページしかありません。しかし言葉が一つ一つ優しく、私に語りかけてくるような言葉遣いで心の中まで温めてくれる本でした。泣きました。個性や自分自身、周囲の人達を大切にすべきだと心から思えるようになりました。私の中学生の頃のように、悩みや問題の壁に立ちあはだかっているあなたにお薦めします。ぜひ、この作品を読んであなたも心を温めてみませんか。あなたも自分を好きになりませんか。

審査評：母からプレゼントされた本で自分が救われた経験を紹介し、当時の自分と同じような思いで生活している後輩に薦めるという設定がよい。思春期の悩みの中での母親との関係など優しさのあふれる文章となっている。

『ビブリア古書堂の事件手帖 ～梨子さんと奇妙な客人たち～』 (三上 延／著)

千葉学園高等学校 2年 古澤 碧



発行：株式会社KADOKAWA  
アスキー・メディアワークス  
レーベル：メディアワークス文庫

あなたは本を贈ったことはありますか？私は幼い頃に母に絵本を貰いました。その絵本の主人公のような子になってほしいと思い購入したそうです。このような経験から私は、本を贈るということは自分の感情も贈ることだと思います。私の母は本を介して、間接的に心の内を伝えたのだと今ではわかります。

このお話は古書店を営んでいる女性が本に詰まっている感情を解き明かし、本に纏わる問題を解決していきます。どの章のお話も人と本の思いでいっぱい魅力的です。近年、端末で本を読むことが多くなってきましたが重みと形がある一冊の本として存在しているからこそ、感情が伝わったり、愛着が湧いたりするのだとこの本を読んで思いました。

審査評：「本を贈る」とは「自分の感情も贈ること」という文章は説得力があり、実際に本を手にとって読むことの意味を改めて気づかせてくれた。自分の実体験をもとにした本への愛着が感じられ、薦めたい気持ちが十分に伝わってくる。

『夢をかなえる本』 (パット・パルマー／著・広瀬 弦／イラスト・eq Press／ 翻訳)

青森県立北斗高等学校 1年 佐藤 ほか

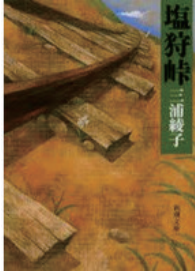


径書房

※現在品切れ中

実はね、わたし不登校だったの。私達は、思春期青春真っただ中の中高校生だけど、別名「只今、悩み盛り真っ最中の青年達」だ。そんな私達の悩みは、バケツから溢れる水のごとく次々と溢れて止まない。そして、皆も一度はぶつかったであろう大きな悩みの壁。勿論、その悩みは人それぞれ。例えば、「本当の友達って何？」、「自分なんて嫌い」、「自分を変えたい」、「成功？幸せって？」とか。大人に尋ねても、納得する答えが返ってくるとは思えないという君。この本は、沢山の悩みを抱えている君に、きっとヒントを教えてくれるよ。もし、君を引っ張る意志の声がかきこえても、心の扉を全開にして読んでみて。君に勇気を与えてくれるから。

審査評：切り口は変わっているが、読んでいて気持ちのわかる文章。どのような人に読んで欲しいのか薦める相手が明確である。自分と同じ悩みを抱えている中学生へ語りかけるように書かれており、他の応募作品と異なり新鮮である。



新潮文庫刊

暴走した列車。今度急カーブに出会ったら転覆するのは目に見えている。だからといってあなたは自ら汽車を止めるために汽車の前に飛び込むことができるでしょうか。私はきっと怖くてできません。それを成し遂げたのがこの物語の主人公である永野信夫です。この物語を読んだ時、信夫にそっくりで人のために何でもしてあげられる大切な友達を思いだしました。信夫が繋いだ未来を周りの人が精一杯生きてきたように、私もその人に助けられ、繋いでもらった今を、一生懸命前を向いて生きています。信夫のように、いつだって私の幸せを考えてくれていたその人に、感謝をこめてこの本を贈りたいと思います。

審査評：主人公に自分の大切な友だちを重ね合わせ、その人にこの本を贈りたいという設定が興味をひく。本の内容、薦めたい人、薦めたい理由がバランス良く書かれており、とても分かりやすい文章となっている。

## 奨 励 賞

書 名	著者名	学校名	学年	氏名
何者	朝井 リョウ	青森高等学校	1	増村 亜也
ナイフ	重松 清	青森高等学校	2	一山創太郎
妹は3歳、村にお医者さんがいてくれたなら	国境なき医師団 日本 編	青森高等学校	2	三浦 菜月
君の臍臓をたべたい	住野 よる	野辺地高等学校	2	赤川 あみ
こゝろ	夏目 漱石	十和田工業高等学校	1	山田健太郎
幸福な食卓	瀬尾 まいこ	青森工業高等学校	2	木村 諒
武士道エイティーン	誉田 哲也	六戸高等学校	3	古館 侑佳
坊ちゃん	夏目 漱石	八戸高等学校	1	中居舞優子
女生徒	太宰 治	青森高等学校	2	葛西 志保
月の影 影の海 十二国記	小野 不由美	青森第一高等養護学校	3	辻 有子
シャッター通りに陽が昇る	広谷 鏡子	弘前中央高等学校	2	佐藤 茉奈
青空エール	下川 香苗	六戸高等学校	2	長谷川琴美
空をつかむまで	関口 尚	八戸高等学校	1	成田 愛唯
ぼくたちのなつやすみ 過去と未来と、約束の秘密基地	五十嵐 雄策	青森工業高等学校	1	花田芹玲奈
ニホンブンレツ	山田 悠介	弘前中央高等学校	2	窪田あずさ

※奨励賞の作品は県教育委員会のホームページで読むことができます。

# 今、中学生・高校生は、どんな本を読んでいるのかな？

## 中学生が選んだ

### 「大切なあなたへ薦める青春の一冊」ベスト10

	タイトル(書名)	著者	応募点数
1	ぼくらの七日間戦争	宗田 理	23
2	君の臓腑をたべたい	住野 よる	18
3	青空エール	河原 和音 下川 香苗	16
3	世界から猫が消えたなら	川村 元気	16
5	学年ピリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話	坪田 信貴	15
6	小説 君の名は。	新海 誠	13
6	植物図鑑	有川 浩	13
6	ぼくは明日、昨日のきみとデートする	七月 隆文	13
6	ぼくらシリーズ (ぼくらの七日間戦争以外)	宗田 理	13
10	犬と私の10の約束	サイトウアカリ 川口 晴	12
10	バッテリー	あさの あつこ	12

### 作家別ベスト10

	作家	応募点数
1	山田 悠介	43
2	有川 浩	37
3	宗田 理	36
4	あさの あつこ	25
5	住野 よる	22
6	重松 清	21
6	湊 かなえ	21
8	七月 隆文	19
8	細田 守	19
10	百田 尚樹	17

中学生の部総応募点数：1,467点

## 高校生が選んだ

### 「大切なあなたへ薦める青春の一冊」ベスト10

	タイトル(書名)	著者	応募点数
1	カラフル	森 絵都	109
2	君の臓腑をたべたい	住野 よる	65
3	人間失格	太宰 治	56
4	永遠の0	百田 尚樹	36
5	星の王子さま	サン・テグジュペリ	34
6	学年ピリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應義塾大学に現役合格した話	坪田 信貴	30
7	小説 君の名は。	新海 誠	27
8	世界から猫が消えたなら	川村 元気	26
9	植物図鑑	有川 浩	25
10	陽だまりの彼女	越谷 オサム	23

### 作家別ベスト10

	作家	応募点数
1	森 絵都	115
2	山田 悠介	91
3	有川 浩	88
4	太宰 治	76
5	住野 よる	75
6	百田 尚樹	59
6	朝井 リョウ	52
8	東野 圭吾	48
8	重松 清	40
10	辻村 深月	35

高校生の部総応募点数：2,839点

#### 審査委員

八戸学院短期大学	学長補佐	茂木 典子
青森県読書団体連絡協議会	会長	西村 恵美子
株式会社成田本店	課長	三上 定博
青森県立板柳高等学校	校長	米持 聡
青森市立戸山中学校	校長	山田 由子
青森県教育庁生涯学習課	課長	児玉 政光



発行 青森県教育庁 生涯学習課  
〒030-8540 青森市新町2-3-1  
Tel 017-734-9888 (企画振興グループ)  
Fax 017-734-8272

発行日 平成29年3月